

オンライン・Zoom 研修・セミナー

開催日
9月4日(土)
参加費
無料

新型コロナウイルス感染症 がもたらす課題

2年近く続いている新型コロナウイルス感染症。それに伴い、外出自粛や蔓延防止等、重点措置、緊急事態宣言などが発令され、学校や会社、家庭、飲食業界などに与えた影響は計り知れないものがあります。そして、デルタ株の感染が拡大している。昨今では、感染予防として日々呼びかけられるワクチン接種の推進と接種拒否問題やワクチンパスポートの発行等により、基本的な人権が侵害されるのではないかと、いう声も聞かれるようになってきました。そして、水面下では、子どもや女性へのDV、虐待、自殺、失業、職場におけるパワハラ等で、心病む人も増加の一途をたどるようになってきました。そこで、今回のオンラインセミナーでは、福島県の被災者や医療関係者などのこころの復興に尽力されている福島県立医科大学医学部「災害こころの医学講座」より前田正治教授を講師にお迎えし、「新型コロナウイルス感染症」という見えない災害に対して、私たちが現在どのような状況に置かれ、今後どのように対処して行ったらよいかなどについてお話いただき、視聴者と共に議論し、考えて参りたいと思います。

講師プロフィール

前田 正治 (まえだ まさはる)

福島県立医科大学医学部 災害こころの医学講座 主任教授
放射線医学県民健康管理センター 健康調査・県民支援部門長
ふくしま心のケアセンター 副所長

1984年、久留米大学医学部卒業。同大准教授を経て、2013年より現職。専攻は災害精神医学、精神医学的リハビリテーション。

ガルーダ航空機墜落事故(1996年)、えひめ丸米原潜沈没事故(2001年)等で被災者の精神保健調査・支援の責任者を務めた。現在は福島県立医大において、放射線医学県民健康管理センター・こころ生活習慣調査の責任者を務めているほか、新型コロナウイルス感染症対策にも関わっている。

日本トラウマティック・ストレス学会会長を2010年から3年間務めた。

著書として、「心的トラウマの理解とケア」じほう出版、「生き残るということ」

星和書店、「PTSDの伝え方：トラウマ臨床と心理教育」誠信書房、

「福島原発事故がもたらしたもの」誠信書房、「遠隔支援スキルガイド」誠信書房ほか



9月4日(土) 15:00 ~ 16:00 講演 (定員 60名)
16:00 ~ 16:30 ミニ座談会 (定員 3名)

メールにて、氏名、参加人数、年齢、連絡先を入力してお申込み下さい。
定員に達し次第締め切りますのでご了承ください。

ミニ座談会に参加ご希望の方は、座談会の中で話したい内容や前田先生への質問、意見などの概要を申し込み時に書いて送ってください。内容はあくまでもセミナーのテーマに沿ったものに限ります。小学校高学年から参加できます。職業不問。

申込先

一般社団法人 人権問題研究協議会

E-mail: info@humanrights-ra.com

締切

9月2日(木)